

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月20日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【所内共通ディーゼル発電機(A)過電流継電器動作について】 非常用電源の所内共通ディーゼル発電機(A)の定例試験を実施していたところ、過電流の警報が発生し受電しゃ断器が動作(開放)。 受電しゃ断器が動作(開放)した原因は、所内共通ディーゼル発電機(A)運転中に系統電圧が変動したことに伴い、発電機電流が一時的に上昇し、過電流継電器が動作したものと判断。 今後、発電機電流が過電流継電器の動作点まで上昇しないように監視および調整をする。	G II	1月15日
2	【共用プールエリア送風機(B)の過負荷/トリップ警報の発生について】 共用プールエリア送風機(A)から(B)に切り替え操作を行った際、「共用プールエリア送風機(B)過負荷/トリップ」の警報が発生。 警報発生後も、共用プールエリア送風機(B)はトリップせず運転状態を継続したため、再度、共用プールエリア送風機(B)から(A)に切り替えた。 今後、点検、調査を予定。	G III	1月11日
3	【1号機ディーゼル駆動空気圧縮機バッテリーの不良について】 定例試験時にディーゼル駆動空気圧縮機(A-2)が起動せず。 エンジン始動時、セルが数回しか回らずエンジンが始動しないため、バッテリーの不良と判断。 今後、バッテリーを交換予定。 本機器はバックアップ設備で、通常待機運用であり、常用系の設備が健全であることから設備への影響はない。	G III	1月14日
4	【常用電気品区域送風機(B)用出口グラビティダンパの動作不良について】 常用電気品区域の送風機(B)を起動した際、出口グラビティダンパ※の開度表示8箇所の内、2箇所が全開しないことを確認。 今後、点検、調査を予定。 当該送風機の運転状態に問題なし。 ※出口グラビティダンパ: 逆向きの風が流れないように逆流防止を目的としたダンパ	G III	1月11日
5	【雑固体廃棄物焼却設備における焼却炉(A)の投入ダブルダンパ下段左側シリンダシャフト部よりエアリー漏れについて】 雑固体廃棄物焼却設備における焼却炉(A)の投入ダブルダンパ下段左側シリンダシャフト部よりエアリー漏れを確認。 焼却炉(A)投入ダブルダンパ下段左側シリンダシャフト部のパッキン用ゴムの劣化が原因と推定。 焼却炉(A)の運転に影響なし。 今後、点検予定。	G III	1月15日
6	【5号機ホットラボ空冷冷却器(B)の自動停止について】 5号機ホットラボ空冷冷却器(B)が、警報を発報し、自動停止。 取り扱い説明書よりコントローラ通信異常が原因で停止したと推定。 ホットラボ空冷冷却器(A)が運転中のため影響なし。 今後、点検・修理予定。	G III	1月15日
7	【5号機IA除湿器(B)ブロワ交換後の試運転中断について】 5号機IA除湿器(B)ブロワ交換後の試運転を行った際、「除湿塔切替不良」および「ブロワ過負荷」の警報が発報した。 警報解除作業を行ったが解除されなかったため、試運転作業を中断した。 今後、原因を調査する。 IA除湿器については現状(A)系が運転中であり、系統運転には支障はない。	G III	1月14日
8	【車両スクリーニング場から正門間での電子式線量計一時不携帯について】 重機搬入運転手は、重機搬入終了後、車両スクリーニング場から正門へ移動する間、電子式線量計を一時不携帯であった。 正門にて退域処理を実施する際、電子式線量計がない事に気づき、正門の監視員へ状況を説明。 その後、装備脱衣場にて、使用済み保護衣を入れるゴミ箱横に落ちていた電子式線量計を回収。 本人が使用していたものと確認後、退域処理を実施した。	G III	1月16日